別記第４号様式

中堅教諭等資質向上研修評価書

 　神戸大学附属特別支援学校　教諭

 　研修教員氏名（　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| ※評価は、次の基準により４段階で行う。〈4 優れている ・ 3 よい ・ 2 もうすこし ・ 1 よくない〉※補足すること（得意分野としては伸ばすべき特に優れた指導力等を有する教科や分野等）については総合所見欄に記入する。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評　価　項　目 | 評価 | 総合 |
| 教員としての基本資質 | ①教員としての高い倫理観をもっている。 |  |  |
| ②教員に必要な高度な知識・技術をもっている。 |  |
| ③職務遂行への意欲と責任感がある。 |  |
| ④組織の一員としての自覚をもち、他の教員との協調性がある。 |  |
| ⑤教員としての言葉遣いや心配りができる。 |  |
| ⑥常に人権を尊重する態度が見られる。 |  |
| ⑦保護者等とのコミュニケーション能力がある。 |  |
| ⑧地域の行事等に積極的に参加する。 |  |
| 児童・生徒の指導等 | 計　　　画 | ①学校の教育課程の具体的実施計画として、長期、短期の指導計画を構造的に作成している。 |  |  |
| ②個々の児童・生徒の理解と発達状況に対応した指導計画を作成している。 |  |
| ③日々の指導の記録をとり、自ら検討するとともに教員間で話し合い、次の指導計画に生かしている。 |  |
| ④ティームティーチングの場合に、互いの考えを十分に理解し合い指導計画を作成している。 |  |
| 環境の設定 | ①児童・生徒の自発的な活動を引き出し、ねらいを達成できる用具、材料を適切に準備し配置している。 |  |  |
| ②他学級との関係、自然環境、地域環境なども生かす学習の場の設定をしている。 |  |
| ③季節や１日の流れなどの時間的要因も環境として捉えて、指導に生かすよう配慮している。 |  |
| ④児童・生徒の実際の活動に合わせ、的確に環境を再構成できる。 |  |
| 指導の方法・展開 | ①個々の児童・生徒の特性を理解し、担当の児童・生徒同士の関係を的確に把握している。 |  |
| ②温かい態度で受け止めることによって、児童・生徒の緊張、不安をうまく解消している。 |  |
| ③個々に応じた働きかけにより、信頼関係を早期に築くことができる。 |  |
| ④児童・生徒と共に活動することを心から楽しむことができる。 |  |
| ⑤児童・生徒と共感し、満足感や心の安定を与えている。 |  |
| ⑥活動の中で、善悪の判断、思いやりの気持ちなどを、適切な言葉と行動で示している。 |  |
| ⑦個々に応じた適切な援助を行っている。 |  |
| 学級経営 | 学級経営 | ①個々の児童・生徒を学級の一員として大切にすることにより、お互いを大切にする学級になっている。 |  |  |
| ②施設設備の安全管理、児童・生徒への安全指導が万全である。 |  |
| 保護者への対応 | ①家庭との連携が緊密で、個々の児童・生徒について入学前や、家庭での生活の様子も把握し、指導に生かしている。 |  |
| ②保護者と話をする機会をできるだけ設け、指導に生かすとともに、子育ての相談相手となっている。 |  |
| ③事故、問題などが起きた場合の保護者への説明、対応が迅速で的確である。 |  |
| 地域との関係 | ①機会をとらえて地域の人に学校を理解してもらうよう努力している。 |  |  |
| ②地域の行事などに積極的に参加しようとする姿勢がある、場の設定をしている。 |  |
| ③地域の人材、施設、自然などを指導に組み入れようという意識を持っている。 |  |
| 校務 | ①学校全体の運営方針・目標を把握し、職務全般に反映させている。 |  |  |
| ②学校の運営について自分のこととして常に考え、教員会議等においても建設的な発言をする。 |  |
| ③必要に応じて校長などにきちんと報告・連絡・相談を行う。 |  |
| 向上心 | ①自分の指導の評価を的確に行い、改善を図っている。 |  |
| ②学校など職場が用意した研修機会に積極的に参加し資質向上に努めている。 |  |
| ③自主的に校外の研修等に参加し、研修成果を実践に生かしている。 |  |

|  |
| --- |
| 総　　　合　　　所　　　見 |
|  |

作成日　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　作成者　 附属特別支援学校長